

名前	丹羽 大樹 (ニワ タイキ)	
所属	総研大・生命科学・遺伝学専攻 (遺伝研)	
職種・学年	5年一貫制博士課程3年	
実験動物	イヌザメ	
好きな実験	免疫染色など、肉眼では見えない美しい世界が好きです。	
趣味	ロッククライミング、山歩き (三島は最高です)	
Homepage	<a href="https://www.treethinkers.info/">https://www.treethinkers.info/</a>	
ひとこと	癒しのサメが待っている生活	
研究紹介	調べれば調べるほどその多様さが浮き彫りとなっていく性決定。これまで調べられてきた硬骨魚類とは全く異なる系統で何ら知見のなかった軟骨魚類の性決定について、イヌザメをモデルにドライとウェットの両面から挑んでいます。	
トピック1: 研究の魅力	性という同じ出力に対して、なぜこんなにも多様な決定方法があるのか不思議に思っています。多様な入力を雌雄の二値 (といえるのか?) にうまく変換している実体は誰なのか、なぜ入力は多様化してしまうのか、やっぱり性の研究は面白い!	
トピック2: 挑戦していること	ひたすら顕微鏡をのぞく生活から一変、少し敬遠していた <i>in silico</i> な解析に挑戦中。当たり前に使っていた遺伝子アノテーションの情報やゲノムアセンブリを自分が組み立てる側になってみて、こういった情報が本当にただの文字列から生まれていることを実感して感動しています。	



イヌザメの胚



Hi-Cで染色体スケールへ



イヌザメの幼魚



厄介なりピートも読み越せる。そう、HiFiリードならね。